

# 1年 科学リテラシー研修

## 1 目的

最先端の研究機関や大学への訪問を通じて、科学的思考の重要性を実感し、高度な知識・技能を身につける契機とする。また、集団行動や一流の学びに触れる体験を通して、社会貢献への意識を高め、将来に向けた動機づけを行う。

## 2 概要

### (1) 日程

令和7年11月6日(木)～7日(金)

### (2) 対象

第1学年 270名

### (3) 内容

筑波研究学園都市および東京都内の研究施設・大学を巡る1泊2日の研修

### (4) 行程

1日目：筑波施設見学

JAXA、高エネルギー加速器研究機構(KEK)、物質・材料研究機構(NIMS)、つくばエキスポセンター、筑波大学の中から、希望施設を2つ選択し、クラスの枠を超えた7コースに分かれて見学。

2日目：東京施設見学

東京大学での本校OBによるキャンパスツアーは全員対象。それに加えて、国立科学博物館、東京国立博物館、東京科学大学(医・歯学部)の3つから1つ選択して見学。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

#### ①高い学習意欲と満足度

昨年度までの「クラス別バス」から、「希望コース別バス」に変更した。このことにより、約7割の生徒が、「自らの関心に即した場所で主体的に学べた」と回答。特に、新規開拓したNIMSや東京科学大学の満足度が非常に高く、理系・医療系への志向を高める一助となった。

#### ②科学への理解と社会貢献意識

基礎研究が社会や生命を支えている現場を直に見ることで、研究者への敬意や「将来自らも社会に貢献したい」という意識がアンケートからも顕著に見られた。

### (2) 課題

#### ①事前学習の強化

物理・化学の1年次未履修分野を含む施設(KEK等)では、見学内容の理解に個人差が出た。分野に応じた事前レクチャーの導入を検討する。

#### ②見学施設選定の最適化

生徒の興味・関心が低い、あるいは滞在時間の短い施設については、他施設への入れ替えやプログラムの再構成を行う。

